



令和2年 11月 第6号
西方中学校 図書室



読書週間がはじまりました

10月27日から、西方中学校の読書週間が始まりました。



(図書委員会が書いた POP(ポップ)の展示)



(読書ラリーは読書家が燃えるイベント🔥)



(ラッピングブックがずらりとならびます)



読書週間は 11/13 (金) まで。イベントに参加して、たくさん本を読もう!



見計らい図書を実施しました

みはか
見計らい図書とは…「げんぶつせんしょ現物選書」とも呼ばれる。書店が用意したサンプル図書を実際に見て、
図書室用の本を選ぶこと。



図書委員会のみで実施し、クラスごとに2冊の本を選んで購入しました。
選ばれた本は、図書委員が展示をおこないます。(本が届き次第、12月予定)

うら面もあります →



新着図書のご案内

「図解 シンプルな勉強法」

河野 玄斗



「勉強はコスパ最強の遊びだ」—10万部超えベストセラー、待望の図解化！東大医学部在学中に司法試験合格、英検・数検1級取得、「頭脳

王」2連覇など、あらゆる“勉強”のフィールドを制した勉強法の真髓が、図解でさらにわかりやすく！シンプルで正統派。だけど、「こんなやり方あったんだ」と思わず目からウロコが落ち、勉強に対する考え方すら変わることに間違いなし。

「おいしい昆虫記」

佐伯 真二郎

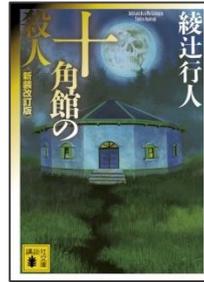


419種の虫を食べつくした、「蟲ソムリエ」の生きる道。カリッと、ジューシー、フルーティー？！生物学者を目指す大学院生だった著者は、あるときハエを見て「なぜ昆虫に食欲が湧かないのだろう」と疑問を持つ。

以来食べられる昆虫を調べ食べては検証を重ね、やがて「昆虫はおいしい」と悟り、気づけば419種類の昆虫を味見するようになっていた！

「十角館の殺人」

綾辻 行人

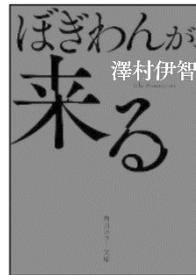


十角形の奇妙な館が建つ孤島・角島を大学ミステリ研の7人が訪れた。館を建てた建築家・中村青司は、半年前に炎上した青屋敷で焼死したという。やがて学生たち

を襲う連続殺人。メンバーが一人、また一人、殺されていく。ミステリ史上最大級の、驚愕の結末が読者を待ち受ける！1987年の刊行以来、多くの読者に衝撃を与え続けた名作が新装改訂版で登場。

「ぼぎわんが、来る」

澤村伊智



映画「来る」の原作ホラー小説。“あれ”からは決して逃れられない——。田原秀樹の会社に、とある来訪者があった。取り次いだ後輩は原因不明の怪我を

負い、入院先で憔悴してゆく。その後も周囲に不審な電話やメールが届く。一連の怪異は、亡き祖父が恐れていた“ぼぎわん”という化け物の仕業なのか？家族を守るため秀樹は伝手をたどり、比嘉真琴という女性霊媒師に出会う。はたして“ぼぎわん”の魔の手から、逃れることはできるのか……

そのほかの新着図書



- › FACTFULNESS(ファクトフルネス)
- › 教科書には書かれていない江戸時代
- › 生き物が大人になるまで
- › 生き物の死にざま
- › 続 わけあって絶滅しました。
- › も〜っと わけあって絶滅しました。
- › リアル色鉛筆レッスン
- › アウトドアテクニック図鑑
- › 水車館の殺人
- › 迷路館の殺人
- › キノの旅ⅠV
- › キノの旅V
- › キノの旅ⅤI
- › キノの旅ⅤII
- › クスノキの番人
- › コンビニたそがれ堂
- › 赤毛のアン (新装版)
- › アン青春 赤毛のアン(2)
- › アン愛情 赤毛のアン(3)

